

●超高速光エレクトロニクス(UFO)研究会 第1回研究会

主 催：超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

日 時：2019年9月27日（金）10：00～17：00

会 場：電気通信大学 創立80周年記念会館

（〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1）

交 通：URL：<https://www.uec.ac.jp/about/profile/access/index.html>

内 容：超高速光エレクトロニクスの研究は、超短パルス光源や超高速光通信・デバイス技術など、直接、超高速の時間軸を扱う分野はもちろん、それに留まらず、広範な応用分野の基盤技術として展開を見せています。当研究会では、デバイス・材料開発、新規光源技術・応用技術、光通信・バイオメディカル、アト秒・超高速サイエンスなどの、超高速光エレクトロニクスに関する基盤技術から、関連する応用までの広い分野をカバーし、新たな方向性を生み出すための活動を行っています。第1回の研究会では、各部会から関連する最新の招待講演をお願いし、超高速光エレクトロニクス研究の全体を俯瞰することによって、今後の方向性を議論する機会とします。

【参加資格・参加申込】

参加資格：特に設けておりません。広く、ご興味のある方の参加を歓迎します。

参加費用：無料

【プログラム】

当研究会のカバーする、材料・デバイス、新レーザー技術・新レーザー応用技術、バイオ・通信計測、フェムト・アト秒基礎科学の各分野より、以下の計7件の招待講演。

10:00-10:10 委員長挨拶

美濃島 薫（電通大）

10:10-10:50 〔招待講演〕長距離光伝送および光スイッチングノードにおける信号処理技術

植之原 裕行（東工大）

10:50-11:30 〔招待講演〕超短パルスレーザーにより誘起される不可逆過程解明のための大規模データ活用

谷 峻太郎（東大）

11:30-12:10 〔招待講演〕フェムト秒レーザーによる表面プラズモンの過渡励起とナノ加工

宮地 悟代（農工大）

昼休み

13:40-14:40 〔基調講演〕光周波数コムによる時間・空間・周波数の多次元制御性を用いた
応用展開

美濃島 薫（電通大）

14:40-15:20 〔招待講演〕高機能パルスレーザーによる誘導ラマンイメージング
小関 泰之（東大）

休憩

15:40-16:20 〔招待講演〕フェムト秒ツリウム固体レーザー再生増幅器の開発とそれを光源
とした中赤外白色光発生

藤 貴夫（豊田工大）

16:20-17:00 〔招待講演〕中赤外フェムト秒プラズモニクスと振動分光への応用
芦原 聡（東大）

最新情報やプログラムは当研究会ホームページをご参照下さい。

<http://www.ieice.org/~femto/>

【研究交流会】

17:00 頃から同キャンパスにて開催。有料

【問合せ先】

芦原 聡 （東京大） E-mail: ashihara@iis.u-tokyo.ac.jp